

はじめに

地域経済第1号を公にしたのは2年前のことであったが、これに対して大きな反響があり、続刊への強い期待が寄せられていた。

幸い、その後、当研究会も恒久的機関としての存置が認められて、地域研究の推進母胎の体制が整い、この度、その研究成果を第2号として発表する次第である。

前号が、十周年記念事業の一つとして急遽実施されたこともあって、自由テーマにもとづく個人研究の論文集の体裁をとらざるをえなかったが、この第2号では、本学の置かれている地理的特性を考えて地元輪中地帯の研究を企図し、その特集号として発表することができたのは大きな喜びである。

輪中は、木曾・長良・揖斐三川下流域にみられる特異な景観で、耕地や集落が囲堤によって洪水から守られている地域共同体であるが、まだその学問的解明は十分に進んでいない。その研究を促進することは、輪中地帯に位置する本学の大きな使命の一つであるとわれわれは考えており、本研究会は、今後もこの課題に積極的に取り組む所存である。

本学が地方大学の特殊性とその使命を自覚し、地域に根ざした教学の実現に真摯に努力していることについては、幸い多くの識者の理解と共感をえており、この論集はこれらの方々の期待に十分こたえうるものであると自負している。

当研究会は、今後いっそう地域の研究に徹し、これに永続的かつ積極的に取り組む考えであるが、大方の御支援と御協力を切にお願い申し上げる次第である。

岐阜経済大学地域経済研究会

会長 大迫輝通